



2009.9.20 敬老会 教会学校の出し物

神の慈しみは永遠

助任司祭 ナジニエデルベルトウス

蟬の声がなくなつて静かで清い季節が来ました。小さな秋が来ました。太陽は9月22・23日に赤道の方にそつと南へ移動します。北半球に住む私達は永い夜と短い昼の季節を味わう事になっていきます。暗い場所に永くいるのは誰にとつても怖いものです。ヤコブのことを思い出します。一人で旅するヤコブは怖くて、寝る前に自分を神の加護に委ねることにしました。神様は彼の祈りを聴き入れてくださつて天使たちが天まで届く梯子(はしご)で行つたりきたりする姿を夢によつて彼に見せられました。天使たちと共に過ごすような気分をもつたヤコブは喜びのあまりに朝早く起き一番良い石を探して神様の慈しみを頂いた記念として建てられました。

天使は天の集いに預かる清い霊です。人間にメッセージを伝えられるある日、人間を保護する使命を果たす時、翼のあるケルブのようになつて世に登場します。昔から天使の話がありましたが公にまたカトリック教会全体に記念する日を定められたのは1608年9月27日からです。教皇ハウロ5世により始めてカトリックカレンダの中に守護の天使の記念日が載せられました。

現代9月の29日は大天使の祝日になっています。1615年から10月の2日は守護の天使の記念日になっています。守護天使の話を知るとイエス様の子供達に対しての優しい態度胎をおもひ出します。子供を軽んじるな。彼らの天使は天の神の御顔を見ています「マタイ18・10」。守護天使は人間に対する神の慈しみの印です。冬が来ても寒さの中にも

6ページへ

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第2水曜日 午後2時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday:
9:30 am Mass in English (Maria Kan-Hall)
第4日曜日 午後2時 ベトナム語のミサ

第五回運営委員会議事録

日時 2009年9月6日
11時20分～12時1分
場所 司祭館一階集会室

○司祭団より

来年3月28日16時より四旬節「音楽による黙想会」開催予定。

愛知芸大アンサンブルによる演奏と聖書朗読で構成する。

演奏者には教会から謝礼を払うと同時に献金も受け付ける。

○報告事項

1. 聖堂扉の修理について

扉が閉じる際に作動するブレーキの故障があった。怪我に直結する箇所のため、緊急に工事を実施した。

2. 納骨堂管理委員会について

7月18日実施

祭壇や壁の十字架等の整備について具体的な検討に入った。

共同納骨堂のボックスが、あと2つで満杯になるため、新しい納骨堂の設置について検討を始める。教会敷地内に納骨堂を建設することが可能かどうかも含めて検討していく。

東八事霊園にある南山教会墓地の管理運営・使用規程についても検討中。

次回は9月12日開催予定

3. 8月の平和の祈りについて

城東ブロックの行事として、多くの方の参加を得、よい集まりとなった。

4. バザー準備状況について

9月12日(土)から案内配布

9月19日(土)から食券販売

マリア会出店計画の最新状況が紙面にて示された。

中高生会の焼きそば実施確認。

昨年度までであった焼き鳥をどうするか今後検討する。

新型インフルエンザ対応について

次の実行委員会(9月12日)で

マニュアルを作成する。バザー

そのものを中止とする考えは、

今のところ無い。

ゴミの処理については、それぞれ

の店で適切な処理を考えていく。

5. 教区行事について

司教様叙階記念・司祭修道女金

祝銀祝(7月6日)

年度教区テーマを深めるための

養成講座(7月18日)

司教様を囲む懇談会(7月26日)

パウロや殉教者から学ぶため

には、まずパウロや殉教者につ

いて学ぶ必要がある。学ん

だことは小教区で分かち合っ

てほしい。

小教区は地域に対して責任を負っている。

6. 城東ブロック会議

9月27日13時30分

カトリック恵方町教会にて

テーマは「福音と環境 ― 私

と自然そして神の心 ―」

13時30分

シーゲル神父様による講演と

田奈津子さん(名古屋生物多様

性アドバイザー)による活動報

告

15時00分 合同ミサ

16時00分 懇親会

(マイ箸・マイカップ持参)

17時頃 閉会

駐車場利用は各教会2台まで

聖書と典札のうち何部かを教会

からまとめて持っていく

7. 聖堂横女子トイレ換気扇故障

のため、すぐ修理する。

1. 敬老会について

前日準備と当日の役割分担につ

いて確認した。

19日2時半のミサ後に準備。

当日の司会は運営委員長

お食事(11時に到着)や花などの

準備はマリア会

出し物についても確認した。

聖堂にて聖歌隊の歌

マリア館ホールでは、教会学

校、中高生会の出し物に加え、

魚住さんによる「座ってできる

ヨガ」を紹介していただく。

2. その他

米の一握りを教区へ届けること

は、今は事務の小林さんに頼ん

でいるが、今後、他の方にも役

を担っていく方向で検討してい

く。

ミサ中のドアを開放することに

ついてミサ当番の役割として位

置づけていく。

南山短大が、二〇一一年に南山

大学名古屋キャンパス内に移動

する。

10月25日日英合同ミサは、演奏

者不在のため、英語の歌なしで

実施。

○各会報告

【マリア会】

○例会の報告

神父様の話に新しい方入会

敬老会について打合せ

城東ブロック会議の報告

遠足を11月6日(金)に予定

多治見教会と

花フェスタ記念公園

バザーについて確認

新型インフルエンザ対応につ

いては、10月の初金までに確

認したい。

【教会学校】

8月16日(日)聖母被昇天祭にて女子がロザリオと天使の奉仕を行った。

8月21日(金)～23日(日)

長野県松川市にてキャンプを行った。約40名程の参加。皆様のお祈りのおかげで、病氣や怪我無く無事終了。

【中高生会】

9月6日 始業式

10月4日 聖信の勉強会

来年2月7日に聖信を受ける方(今の中学1年生)は教会事務所に申し込んでください。

【中高生父母の会】

7月12日9時半ミサ後フリーマーケットを行った。一万四千五百十五円の収益金があり、教会に寄附させていただいた。

【ボーイスカウト】

水泳訓練、県大会、山のキャンプは無事終了。

9月27日(日)小聖堂にて上進式と育成会総会を行う。

【手話の会】

8月30日(日)9時半ミサ後、教区の聾者をお招きして被昇天のお祈りと交流会を開いた。20名くらいの参加で軽食をお出しした。聾者の豊かな表現力を学ぶとともに、お祈り、お祝いの会となった。



2009.9.20 敬老会 聖歌隊歌のプレゼント



2009.9.20 敬老会 塗油の秘跡

第六回運営委員会議事録

日時 2009年10月4日

11時20分～12時40分

場所 司祭館一階集會室

○司祭団より

通夜と葬儀のしおりの作成について

初めてキリスト教の葬儀に出席された方のためや、今後の教会の宣教活動の一環として、「通夜と葬儀のしおり」の作成を決定した。内容については、葬儀の奉仕関係者と協議する。A4両面印刷を三つ折りにしたパンフレットとし、1部8円で5千部を作成する。

○報告事項

1. 敬老会の開催について

限られた予算内で充実した内容であった。当日の出席者を把握するために受付は必要である。今後は、付添者の方の食事にも配慮する必要がある。申し込みハガキに付き添いの方の弁当の必要を問う欄を設けるようにする。

2. 城東ブロック会議について

信徒協理事会、司祭評議会の報告があった。また、城東ブロックの集いについて最終確認が各小教区、修道会より今後の活

動予定を紹介しあった。膳棚教会では、毎月初木曜日に司祭のための祈りが捧げられている。また、恵方町教会では、日曜日のミサ後、司祭のために主の祈りを唱えている。

3. 城東ブロックの集いについて

9月27日、恵方町教会にて行われた。「福音と環境」について、シーゲル神父様の講演や広田奈津子さんのお話を聞いた。教会としても何らかの取り組みができないか考える機運が高まった。その中の一つとして、教会のエアコン利用期間をどうするかあげられる。本来7月～9月だったものが、諸般の事情により、それ以外の期間にも使われる場合がある。今後、いろいろ検討していく。

4. バザー委員会より

ヨセフ会やマリア会の協力で食券を販売し、既に完売の品目もあり順調である。今年もゴミ分別は、可燃・不燃・ビンやカンの3分別とする。ゴミは、産業廃棄物として処分する。ただし、ペットボトルのキャップの回収は別に行い、ワクチン接種事業にも協力する。ゴミ減量の観点から、箸やカップの持参をお知らせ呼びかける。これは強制ではない。

備品の点検、当日の配置や雨天の際の対策等調整中である。インフルエンザ対策については教会のお知らせで周知徹底する。

5. 納骨堂管理委員会より

共同墓地の管理運営・使用規定を作成した。来月には実施する見込み。

今後、共同墓地の管理料を当教会で負担する必要性について理解し、承認した。

○審議事項

1. バザーについて

今年は平針、恵方町両教会からテントを借用する。テントの部品管理は、色テープを利用し、紛失がないようにする。設営は、ヨセフ会、ボーイスカウトの協力をお願いした。

2. 典礼センターピエタの展示会について

11月1日(日) マリア館1階集会室にて展示即売会を開催する。教会から活動援助として1万円を送る。

3. 米の一握り運動について

運動で集まった米を信徒協へ届けるスタッフを事務の小林さんと炊き出しメンバーのほかに運営委員の中から当番を募る。次回の運営委員会で調整する。

4. クリスマスイブの駐車場

クリスマスに初めて教会にいらつしやる方の駐車場を確保するため、南山中学高校男子部に協力を依頼する。学園側に受け入れていただけたら、教会関係者のうちどうしても自家用車で来ることが必要な方の車を、まず男子部の駐車場に駐車してもらい、初めて教会にいらつしやる方の車を優先的に教会駐車場に止めるように考えていきたい。

5. 大聖堂内での受信機貸し出しについて

香部屋にある5台の受信機を貸し出すようにする。借りる人が香部屋へ行くのではなく、ヨセフ会のミサ当番の方に玄関で渡していただくようお願いする。その際、イヤホンは利用する方に用意していただく。また、聖堂の音響について説教が聴き取りにくい場所があるので対策を検討した。後日、仮設放送機器を使用して音響効果の実験を行い協議する。

2台スピーカを増やすとうまくいきそうである。

6. 聖堂外側トイレへのスロープについて

聖堂外側のトイレへ行こうとした車いす利用の方が、トイレへのスロープのところ

のところで仰向けにひっくりかえる事故があった。車いす利用の方にはマリア館のトイレを利用していただくよう表示がしてあるが、今回のような事故を受け、今後どのようにしていくかを話し合った。専門家の提案を聞き、よい対策があれば、今後検討していくが、なければ、聖堂トイレ横の出入り口に「段差あり」と「身障者用トイレがマリア館にあります」の表示をし、注意を促すことにする。

○各会報告

【典礼委員会】

10月の間、教会の祈りは休みロザリオの祈りを捧げます

11月1日 諸聖人の祭日

11月8日 死者の為に祈り

午後2時半〜共同納骨堂にてミサを捧げます。

【マリア会】

敬老会での活動が満足できる内容で評判も良かった

11月6日(金) 遠足の予定

場所は多治見修道院、オリベストリートに決定した。

バザーについて各班との最終確認と調整を行いゴミ処理、インフルエンザ対策を、協議した。

【ヨセフ会】

第2回班長会議で教会の美化打合せ、バザー食券販売や設備の設営について協議した。

【英語ミサ】

10月25日 合同ミサで歌う曲目を話しあった。

バザーチケットも販売した。

【ボーイスカウト】

10月3日〜4日名古屋まつりの沿道警備に担当、三カ国語で案内を行った。

バザーで豚汁を販売する。会場の設営、ゴミ処理等の手伝いに参加する。

【中高生会】

10月4日から堅信の勉強を開始する。

11月15日 遠足会を開催

8時のミサ後、9時に紅葉見物へ出発。

【聖ラザロ村友の会】

第36回 会計報告計上

36年間の長きに渡り活動中、今後もご支援を賜りたい。

(7. ページに関連記事)



愛と苦しみ(その9)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

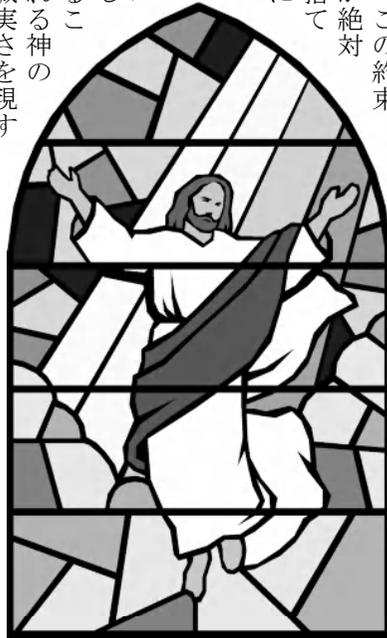
2・3 復活・神の力と

誠実さの啓示

「このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまっただけです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。」
使 2:23, 24

キリストが十字架上で亡くなった時、イエスの敵だけではなく、その弟子たちもイエスの活動が挫折で終わったと思っていました。この考え方は、敵にとって喜び、弟子たちにとって絶望の源となっていました。しかし、キリストは復活しました。この復活は、父で

ある神の力と愛を知った上に、神を完全に信頼していたイエス以外には、誰も期待することも、想像することもできなかったような出来事でした。神はイエスを復活させ、新しい命を与えることによつて以前にキリストに与えた約束を果たしました。この約束というものは、神が絶対にキリストを見捨てることなく、悪に負けることも許さないということでした。この意味で、イエスの復活は、わたしたちが愛に生きることを求めておられる神の全能の力とその誠実さを現すものになっていると言えるでしょう。



に、わたしたちは神に絶対的な信頼をおくことができます。そうすれば、愛に苦しみが伴っても、時にこの愛がわたしたちを囲む悪よりも弱いものに見えても、神の望みに従って自分の人生を愛に賭けることが出来ます。

確かにわたしたちが体験している通りに愛には苦しみ、時には非常に大きな苦しみが伴いますが、

あらゆる悪や苦しみ、そして死よりも強いのです。従って、わたしたちは死がもたらす恐れに負ける必要がありませんし、この恐れから解放されたら、イエスと同じように最後まで愛することが出来るようになるわけです。

考えて見れば、苦しみというのは、この苦しみの大きさや性質による程度で、死を前もって味わうことなのです。そのために苦しみの恐れは、最終的に死への恐れであり、自分が絶滅される恐れなのです。わたしたちは、死に対する恐れから解放されない限り、苦しみに対する恐れによって左右され続けるし、最後まで愛することが出来ません。イエスご自身が信じる人を終わりの日に復活させて下さるといふ約束(ヨハ6:37, 40)とイエスの死に対する勝利は、わたしたちの個人の復活と永遠の命への希望を与えています。この意味でイエスの復活は、わたしたちを死や苦しみに対する恐れから解放することが出来ますし、最後まで愛するために必要な力を与えることも出来ます。

参照… 1コリ2:4, 10、1コリ

15:50・58

侍者会

典礼委員長 新内飛鳥

2009年7月26日、年間第17主日9時半ミサ後、侍者会を開催しました。総勢15名の参加を得られたことは大きな恵です。10時半に聖堂玄関に集合し香部屋に移動しました。香部屋に入ると出欠を確認しながらテキストを配りました。はじめに「現在の南山教会では」と前置きし聖堂内での立ち居振る舞いと心の在り方、香部屋でのマナーについて指導。侍者とはそもそも何者であるかを学び、どんな役割を持っているのかなど概念の部分での学びを終えると、次に実際にミサで使われる祭器具を並べ名前と使い道を勉強しました。これらの基礎知識を踏まえた上で今度は大聖堂で実際の動きを学びます。ベテランが模範を見せ新しい仲間がそれを実践するといった形で練習が進みました。入堂行列からミサの流れに沿って閉祭し退堂、香部屋に戻るまでを細かい動きを確認しながらじっくりと練習しました。12時を迎えホクダン師による祝福の祈りを以て講習会を終りました。その後マリア館ホールに用意された食事を共にいただき解散しました。

講習会のテキストに次の掲載があります。

南山侍者団 七つの約束

1. 主日のミサにきちんと出ること
2. 聖堂内では沈黙を捧げること
3. 聖堂内ではふざげないこと
4. 先輩の言う事を聞くこと
5. 小さな仲間をいたわること
6. 時間を守ること
7. これらの約束を守ること

特に小さな侍者の保護者の方や大人の信徒は、彼らが約束を果たせるように見守って下さいますようお願いいたします。



2009.9.27 城東ブロックの集い 絵の掲示



城東ブロックの集い 合同ミサ (恵方町教会)



城東ブロックの集い シーゲル師講演

1ページから

神様はちゃんと一人一人を暗闇の世界にお見捨てになりません。

苦しみを迎える前にイエス様は御自分の歩く道を弟子達に教えられました。あれを聞いた熱心党にぞくするユダ「9月28日記念」が不思議に思つてイエス様にどうして世にはなく弟子達にはつきり自分のことを示されましたか。それは彼らを愛したからです。天使のように神の言葉を素直に求める人は神に愛され、神の国に秘密をとり得る事になります。御父はその人を愛し、私達はその人のもとに行き、共に住む「ヨハネ14・23」

今月私達は使徒ユダを含めて4人の熱心な聖人を記念しますが二人は同じ名前をもっています。幼きテレサ「10月2日」は素直さにかけては優れた聖人です。神の国の教えすなわちイエス様の言葉をすべて素直に聞き従い彼女は何も恐れる事無くイエス様に信頼をかけました。そうしてイエス様の乙女であるテレサは「10月15日」イエス様との一致を憧れて祈りの生活によつて教会宣教活動を支えて促しました。

彼らは熱心党のユダに約束された助ける方である聖霊「ヨハネ14・17」の導きに従い、霊による与えられるイエス様の平和を体験しました。天の使い、真理の霊、聖人達の存在は神の慈しみを示す方であり、私達が天まで無事に着くように助けるかたがたです。今月マリア様を初め聖人達と共に神の慈しみを歌いましょう。

南山教会では36年前から韓国のハンセン病患者治療施設「ラザロ村」を資金援助しています。支援母体である聖ラザロ村友の会の決算報告をつぎの通り発表します。

会員の高齢化と経済の低迷により寄付金額は昨年と比較して減少気味。みなさまの貴重なお金を円高・ウォン安の為替レートを利用し、有利に韓国へ送金できるように努めています。

今年も聖ラザロ村の患者さんたちがにこにこ笑って不自由な手足をあげて踊る姿を思いうかべ、幸せ一杯の気持ちになります。ご援助とご協力を深く感謝するとともに、今後のご支援をよろしくお願いいたします。

聖ラザロ村友の会 第36回会計報告

収支計算書

自 2008年9月1日 至 2009年8月31日

単位：円

| 収 支 の 部 | 金 額 | 支 出 の 部 | 金 額 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 期首 銀行預金残高 | 52,250 | 送 金 手 数 料 | 59,230 |
| 一 般 寄 付 金 | 2,352,400 | 通 信 費 | 10,400 |
| 受 取 利 息 | 23 | 印 刷 費 | 33,075 |
| | | 聖ラザロ村 送金額 | |
| | | 2008年10月2日 | 123,038 |
| | | 12月12日 | 156,400 |
| | | 12月22日 | 564,000 |
| | | 2009年1月9日 | 560,525 |
| | | 2月27日 | 104,616 |
| | | 3月30日 | 271,000 |
| | | 5月26日 | 116,000 |
| | | 6月24日 | 161,000 |
| | | 7月24日 | 125,000 |
| | | 8月27日 | 105,007 |
| | | 期末 銀行預金残高 | 15,382 |
| 合 計 | 2,404,673 | 合 計 | 2,404,673 |

カトリック教会のカテキズムより

- 522 「神の御子が地上に来られたことは重要な出来事でしたので、神は幾世紀にもわたってそれを準備なさいました。「最初の契約」に見られる祭儀とささげ物、前表や象徴などを、キリストへ向かうように仕向けられました。さらに神は、イスラエルの相次いで起こった預言者たちの口を通して、キリストを告げられました。そのうえ、異邦人の心のうちにもキリストの到来へのおぼろげな期待を抱かせました。」
- 549 「イエスは、ある人々を飢え、不正義、病気、死など、この世の不幸から解放することによって、メシアとしてのしるしを示されました。しかし、イエスが来られたのはこの世のあらゆる不幸をなくすためではなく、もっとも重大な隷属、すなわち、罪の奴隷の状態から人々を解放するためでした。罪は神の子らとしての召命を妨げ、ありとあらゆる人間的束縛の原因となるのです。」
- 550 「神の国の到来はサタンの支配の破滅を意味します。「わたしが神の霊で悪霊を追い出しているのであれば、神の国はあなたたちのところに来ている」(マタイ12・28)。イエスの悪魔払い、人々を悪霊の支配から解放します。これは、「この世の支配者」に対するイエスの大勝利を先取りするものでした。神の国はキリストの十字架によって決定的に打ち建てられます。「神は木の上から支配されました」

南山句会

平成二十年九月三日



ゆく夏やけふも流るる隅田川

のぼる

語り部もみな年老いし敗戦忌

洋子

いつまでも歯切れの悪き残暑かな

光子

星遠し銀漢さらに遠きかな

ひろし

初花の大輪眞白聖母祭

せつ子

今朝も又名残惜しげに秋の蟬

とく子

木漏れ日に光放てる芋の露

あき子

下駄鳴らしはねて踊って盆踊り

瑞子

遠花火音はなやかに終りけり

紀子

蟬の穴残し絶唱消へにけり

佐知子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

クラ
マリア

成井 咲喜子
福原 来瞳

転入

ようこそ

マリア・マリア・コルバ 平田 悠樹(田園調布)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

8月23日

クラ

高橋恵美子 (90歳)

9月11日

ウルフガンク

加藤純一 (84歳)

転出

いつまでもお元気で

使徒ヨネ

川原 克博(恵方町)

結婚

♡ お幸せに ♡

9月5日

栗宗一人♥カクレ高見由美

2009年10月・11月度行事予定表

| | 教会典礼歴 | 南山教会行事 | 各会活動 | 教区行事・その他 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 10月 | ロザリオの月 18(日)世界宣教の日 | 25(日)バザー | 2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)運営委員会 14(水)14:30子ども部屋 18(日)典礼委員会 24(土)要約筆記付きミサ | 15(木)司祭協議会 18(日)世界宣教の日 (献金) 22(木)司祭評議会 |
| 11月 | 1(日)諸聖人の祝日 2(月)死者の日 9(月)ラテラン教会の 献堂 22(日)王である キリスト 29(日)待降節第一主日 | 1(日)行事予定及び 予算審議開始 15(日)14:00墓参 22(日)9:30天使ミサ・ 入門式 29(日)教区デーの分か ち合い | 1(日)運営委員会 6(金)マリア会例会(懇談会) 11(水)14:30子ども部屋 15(日)教会学校七五三 15(日)典礼委員会 21(土)要約筆記付きミサ | 1(日)教区東八事合 同慰霊祭 15(日)~22(日)聖書 週間 19(木)司祭協議会 29(日)教区デー |